

観光地としての将来目標像

自然と人が育んだ歴史文化・産業・信仰を体感できる滞在型観光地

未来の峡南地域の姿

国内外から選ばれる魅力的な観光地となることで、地域住民のシビックプライドが醸成されるとともに、新たなビジネスや雇用が創出されるなど、地域全体が豊かになる。

ターゲット

首都圏、中京圏の大都市圏に居住する40～60歳代の夫婦もしくは小人数グループ 日本(地域独自)の歴史文化に高い価値を感じてもらえる外国人旅行者

計画期間

令和5(2023)～令和7(2025)年度 ※短期間かつ集中的に観光振興施策を展開することで、コロナ禍後のV字回復を図るため、3か年の計画としている

数値目標

①一人当たり平均観光消費額※	R5	10%UP	R7
②観光客に占める宿泊者の割合	20.2%(R3)	5ポイントUP	25.0%(R7)
③来訪者満足度(非常に満足)	53.1%(R3)	7ポイントUP	60.0%(R7)

※数値目標①における具体的な数値は、R5に行う市場分析により設定する

峡南地域の価値を伝えるコンセプト

HEALING in FUJI VALLEY

・地域アイデンティティの核となる「富士川」の名前を冠し、インバウンドにも訴求できるブランドイメージ創出を意図。  
・峡南地域の「山」や「谷」、「川」などが醸し出すヒーリング効果を表現。

～川(かわ)と峡(たに)が育む祈りと生活の空間で、人と自分に再会する～

・地域の生活や産業が育まれた背景としての、地理的特徴を表現。  
・宗教文化(身延山、七面山)の信仰の地としての性質を包含。  
・人との交流を介した学びや気付き(職人、日蓮聖人、生活の知恵、ガイド)、休息・異日常を表現。

① 峡南地域の現状・課題

【現状・課題】

- 峡南地域における宿泊客の割合は20.2%となっており、全圏域の中で最も宿泊率が低い
- 外国人宿泊者数の割合は2.4%、他の圏域と比較しても低い傾向
- 一方、圏域別の来訪者満足度では、峡南地域に来訪した観光客のうち53.1%が「非常に満足」と回答。全圏域の中で最も来訪者満足度が高い  
出典:令和3年山梨県観光入込客統計調査
- 中部横断道開通を契機に新たに東海地方からの人流が生まれ、それを取り込む観光施策が必要
- 峡南5町それぞれの取り組みでは、効果が限定的であることから、地域共通のコンセプトを設定し、一体的に観光振興を図ることにより、峡南地域としてのブランドを確立し深化させていくことが必要
- 観光スポットや観光施設が点在していることから、それらを繋ぐための2次交通の整備が必要
- 様々なウェブサイトやパンフレットにより、情報発信が行われているが、今後は峡南地域としてのコンセプトが伝わる統一的な情報発信が必要
- 峡南地域全体の観光振興を一体的かつ強力に推進する人材及び組織が必要

【主な地域資源】

- 市川三郷町** 四尾連湖、蛾ヶ岳、神明の花火、印章、市川和紙、大塚にんじん、甘々娘(スイートコーン)
- 早川町** 七面山、奈良田、赤沢宿、雨畑硯、なめこ、はちみつ、ジビエ
- 身延町** 身延山久遠寺、法華文化、宿坊、下部温泉郷、本栖湖、あけぼの大豆
- 南部町** 富士川渓谷、南部の火祭り、奥山温泉、なんぶの湯、たけのこ、南部茶
- 富士川町** 大法師公園、ダイヤモンド富士の眺望、富士川舟運、棚田米、ゆず、ラ・フランス

② 将来目標像を達成するための取り組み

峡南5町・県及び観光事業者が一体となって「HEALING in FUJI VALLEY」のコンセプトのもと地域資源(「自然」「産業」「歴史文化」「信仰」「食」)を最大限活用し観光振興を図る

※1 事業イメージは観光振興WSにおけるメンバーからの提案を記載。事業の実施については今後検討していくものとする

【基本方針1】

峡南地域の価値を伝える地域ブランドの形成

【取り組み】

中部横断道開通を契機とした東海地方のゲートウェイとしてのプレゼンス向上  
地域のブランドコンセプトの深化・コアターゲットの設定

【事業イメージ※1】

- ・地域を知る人の経験に歴史文化など専門家の知見を加え地域の魅力をストーリー化し商品造成等に繋げるプロジェクト
- ・峡南地域のコンセプトに共感する観光市場のマーケティング調査
- ・東海地方などから人流を観光に取り込むプロジェクト

【基本方針2】

滞在と再訪の誘因となる観光魅力の創出

【取り組み】

峡南地域のコンセプトを体感できる高付加価値な観光商品の開発

【事業イメージ※1】

- 【歴史文化】
  - ・北斎の裏不ニスポットや信玄の隠し湯(下部温泉郷)などを周遊する歴史文化ツーリズムの推進
- 【信仰】
  - ・アニメ(ゆるキャン△等)を活用したアニメツーリズムの推進
- 【産業】
  - ・シニア向け学びの旅プロジェクト(身延山久遠寺など)
- 【自然】
  - ・伝統産業(和紙、花火、印章等)高付加価値体験プロジェクト
- 【食】
  - ・棚田米の収穫体験などの農業体験と温泉プロジェクト
  - ・蛾ヶ岳の登山やトレイルランなどアドベンチャーツーリズムの推進

【食】

- ・あけぼの大豆やスイートコーンなど地域の特産品を活用したガストロノミープロジェクト



【基本方針3】

利便性の高い持続可能な受入環境の整備

【取り組み】

地域内周遊を促す仕組みや仕掛けの導入

【事業イメージ※1】

- ・シェアサイクルを起点とした新たなビジネスの創出・集積
- ・中部横断道や身延線利用者を対象とした2次交通の充実(観光MaaSやタクシー等のオンライン配車サービスの活用)
- ・富裕層向けのラグジュアリー観光を推進するため、ヘリポート等の検討
- ・ワンストップで来訪者のニーズとアクティビティを結ぶインフォメーション機能とコーディネート機能を持つ新たなサービス拠点の設置検討

【基本方針4】

観光情報の効果的なPRの実施

【取り組み】

峡南地域のコンセプトをコアターゲットに訴求させる戦略的なPR

【事業イメージ※1】

- ・峡南地域のコンセプトを伝える観光関連HPの一元化及びSNSを活用した一元的な観光情報の発信(DX、Eコマースの活用等)
- ・コアターゲットが求めるコンセプトに沿った峡南地域の過ごし方についてPR動画の作成
- ・アニメ(ゆるキャン△等)と連動したイベントやキャンペーンの実施

【基本方針5※2】

魅力ある観光地域づくりを担う人材育成と体制づくり

【取り組み】峡南地域の観光の舵取りをする観光振興会議の開催

【検討事項】

- ・峡南地域の観光振興をコーディネートする人材の育成
- ・観光振興を進めるための観光地域づくり法人(DMO)等の設置検討

※2 基本方針5は基本方針1～4の全ての取り組みを下支えする